



令和4年12月号 Vol.60
情報メディア教育センター

Merry Christmas☆



12月に入ると街のライティングやディスプレイが一層華やかに
なります。海外ではクリスマス前の約4週間はアドベント（待降節）
といって、神様の降誕を待つ大切な歳時。ロウソクやツリーを飾り、
ケーキやクッキーをつかってクリスマスの準備をします。一日ずつ
めくっていくアドベントカレンダーなどを飾る家もあり、子どもた
ちは指折り数えてその日を待ちます。楽しいことは待つ時間も素敵
です。



—いつも興味のだ真ん中を目標に—



『発酵野郎！世界一のビールを野生酵母でつくる』 鈴木 成宗【著】

長篠の戦いの頃、お伊勢参りに来る人々を迎える茶屋として誕生した「角屋（かどや）」名物二軒茶屋餅を作り続けて400年の老舗です。その21代目がこの本の著者鈴木成宗（なりひろ）さん。幼少期より生物が大好き、大学では「微生物の神秘性」に魅せられ、現在は毎日タンクに耳をよせて酵母の声を聞く。酵母愛ハンパない「発酵野郎」ぶりでクラフトビール造りに奮闘する日々を送っておられる。



・なぜお餅屋さんがビール造りを？

実は鈴木さん、大学卒業後一度は家業を継いだものの、餅にきなこを振るくらいしかすることがなく退屈で、退屈で。そんな折、酒税法が改正され中小企業でもビール作りが可能な状況に。「また微生物と遊べる！」その一心で2年後にはビール醸造所を早々開業。大規模なレストランも併設した。しかしビール造りはまだまだ不慣れで失敗の連続、レストランも開店休業状態が続く。鈴木さんのお給料はその当時ゼロ円だった!?そうです。

・そんな窮地を救ったのはいったい何だった？

持ち前の「やれば何とかなる精神」か、周りから（あのポップの帝王 M.J 氏も）のアドバイスか。だが一番の決め手は三重大大学院でのご自身の研究「伊勢の杜の樹液から採取した野生酵母を使用してビールをつくる」。これが成功したこと！だろうか。この野生酵母で発酵させたビールは「HIME WHITE（ヒメホワイト）」と名付けられ、ビールの国際大会でも受賞し、伊勢角屋麦酒を特徴づける看板ビールに成長した。

本書では酵母に導かれ、酵母に発酵させてもらったという51年の人生がたっぷり語られる。「何かをやりたいときには実力が伴わなくても手を挙げるべきだ。追い込まれることで地力がつく。」「最善をつくすために考え尽くしたのか？」など、未来に進む生徒の皆さんにとって羅針盤になる言葉も多く散りばめられている。EMCに蔵書がありますので興味を持った人は是非読んでみてください。（大塚）

さてこの本の著者、鈴木成宗さんがEMC放課後公演会に来てくださいます。楽しくて有意義なお話が聞けると思っています。日時や参加申し込み方法は以下をご覧ください。

EMC 放課後講演会 「三重人に訊こう」

三重県で活躍する様々な人の活動や体験談を通して、その魅力や価値観を学ぼう

第2回 「餅は餅屋」ってことわざ知っていますか？
でも、それだけじゃないんで…

有限会社 二軒茶屋餅角屋本店（伊勢角屋麦酒）
代表取締役社長 鈴木 成宗 氏

と き 2022年12月15日（木）16：30～18：00
と ころ 情報メディア教育センター（EMC）



【参加申込方法】
EMC カウンター
または QR コード
で申し込みをして
ください。

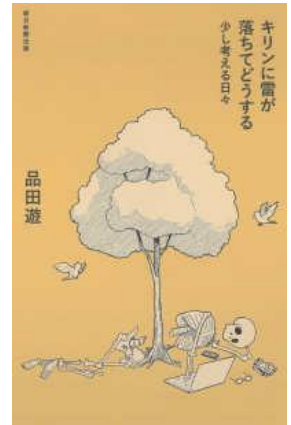


新着図書ピックアップ

『キリンに雷が落ちてどうする 少し考える日々』

品田 遊【著】

ダ・ヴィンチ・恐山という別名のある著者。コンテンツ制作や漫画『くーろんず』を連載したり、小説を書いている仮面をかぶったクリエイターが書かれたエッセイです。様々な分野で活躍されているので、奇想天外な考えで理解できるだろうかと身構えたりもしましたが、実際は読み易い文章でした。そして非常に身近な事柄が、独特な視点と考えで描かれていて興味深かったです。共感できることも多くありましたが、こんな感覚を言語化したことなかったなあと、かゆいところに手が届くような感覚で面白いエッセイでした。(大原)



『「神様」のいる家で育ちました～宗教2世な私たち～』

菊池真理子【著】



著者を含む、7人の宗教2世たちが育ってきた家庭を描くノンフィクション。本書の中に印象的な場面がある。初めてカウンセラーに宗教の悩みを相談すると「あなたはあなたの人生を生きなさい」という言葉が返ってきて、「すごい一般論。たぶん正論。だけど・・・」と、主人公は「ほかの人にはわかってもらえないってことがわかっただけだ」と思う。わたくしごとですが、高校生の時、友人が宗教2世だった。誘われたのを一度断ると、それきり信仰の話は一切しないで高校生活を一緒に過ごした。当時はそれでいいと思っていたけど、彼女が本当に話したいことを聞こうとしなかったのかなと思う。こんなふうに関係や信じるものについて、あれこれ思いをはせるきっかけを作ってくれる1冊です。(津田)

『オメガ城の惨劇』 SAIKAWA Sohei's Last Case

森 博嗣【著】

1日1便の連絡船でしか行けない絶海の孤島にそびえるオメガ城。物理学者、数学者、医者、画家、編集者等、7人にこの城への招待状が届く。招待主は「マガタシキ」。和やかな晩餐の後、やはり連続殺人事件が起こる。謎を解くのは招待客の一人、研究者「サイカワソウヘイ」。まるでクリスティーの「そして誰もいなくなった」を彷彿とさせるストーリー展開である。しかし『S&M(創平&萌絵)シリーズ』ずっと読んでます！という森博嗣ファンの人にはお待ちかねの本かも。ただし「犀川」ではなく「サイカワ」とカタカナ表記になっているのでご注意ください。「なんで？」と思ったらちょっと読んでみよう。(S&Mかと思ったら、実は…なのだ。)(大塚)



新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。



他人の読んでいる本が気になるようになってきた

藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.55

『すずめの戸締り』 新海誠【著】

今話題の新海誠監督の最新作『すずめの戸締り』の小説を EMC で発見(*_*)♪
ということで、2022年最後に紹介する本は、『すずめの戸締り』の小説版にしました。
映画版も興行収入凄いことになっていますね♪

まだ、映画を楽しみにしている人のために、なるべくネタバレを避けて紹介します。

新海誠さんの映画をこれまで2作品観てきましたが、『君の名は。』⇒隕石災害と恋愛、『天気の子』
⇒雨（洪水）と恋愛というように、「自然災害」と「恋愛」セットで描かれる傾向にあります。

今回の『すずめの戸締り』も過去の作品同様に新海誠勝利の方程式が用いられ、震災と恋愛で物語が構成されています。

廃墟の“扉”から放出される地震の元を閉じる「閉じ師」のイケメン大学生と出会った主人公・すずめ。
しかし、ある日すずめが誤って扉にかけていた封印を解いてしまいます。そのことがキッカケでイケメン閉じ師と共に全国各地の廃墟の扉を閉める旅に出るのですが、道中イケメン閉じ師が呪いにかかけられ椅子になってしまいます…(°Д°)イケメン閉じ師の運命は…。そして、すずめは元の生活に戻れるのか…。

映画では何気なく過ぎ去るワンシーンも、当たり前ですが文字で表現するとなるとすごく難しいんですね。小説ではその情景や登場人物の感情を読者がイメージできるようにいとも簡単に文字化する筆者の語彙力と表現力に脱帽しました。より物語を深く知りたい場合は、原作を読んでから映画を観ることがいいかもしれませんね。

私自身、映画はまだ観ていませんが、原作を読んだだけの個人的な評価ですが、『天気の子』以上『君の名は。』以下です。『すずめの戸締り』はアニメーションや挿入歌を知りませんので物語の構成で勝手ながら評価しましたが、私の評価基準は物語の内容云々もありますが、基本的にはハッピーエンドの度合いが大きな枠を占めます。なので、ジブリ映画の場合、『魔女の宅急便』が一番好きです。

当作も映画館で観たいと思うものの、前作『天気の子』をおっさん3人で映画館で観たのですが、周りはカップルだらけ…(°)完全アウェーな雰囲気の中で観たという何とも言えない記憶があるので、新海誠作品はブームが落ち着いてから映画館に行こう決めています。 『すずめの戸締り』 新海誠



12月の開館予定

12月		
1	木	8:10-18:50
2	金	8:10-18:50
3	土	休館
4	日	休館
5	月	8:10-18:50
6	火	8:10-18:50
7	水	8:10-18:50
8	木	8:10-18:50
9	金	8:10-17:50
10	土	休館
11	日	休館
12	月	8:10-17:50
13	火	8:10-17:50
14	水	8:10-17:50
15	木	8:10-17:50
16	金	8:10-17:50
17	土	休館
18	日	休館
19	月	8:10-17:50
20	火	8:10-17:50
21	水	8:10-17:50
22	木	8:10-17:50
23	金	8:10-15:30
24	土	休館
25	日	休館
26	月	8:10-15:30
27	火	休館/館内整理
28	水	休館
29	木	休館
30	金	休館
31	土	休館



第53回 奥村 智紀先生おすすめ

『バッテリー』

あさのあつこ【著】

野球部に在籍していた中学時代にこの本に出会いました。自分の部活動に重ね合わせて読み進めていったことを今でもよく憶えています。

野球が題材の小説ということがきっかけで読み始めたのですが、思春期の子供の感情や、家族の繊細な揺れ動きなどの描写があり、中高生はもちろん、大人でも楽しめる作品になっていると思います。

映画化やドラマ化もされていますので、そちらの方もぜひご覧になってみてください！

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどなたに渡るかな？



カリ・ヨン コタ・モラ

Ho-Ho-Ho!



借りて→特集コーナーで本を借りる！
読んで→読む！
答えて→同封のクイズに挑戦！
もらう→抽選でもらえる！かも！？

12月です、クリスマス特集します！

“カリ・ヨン・コタ・モラ”（借りて、読んで、答えて、もらう）。今年度よく借りられた本の中から30冊、それぞれの本に関するクイズを同封しています。皆さん、ぜひぜひ借りて、じっくり読んで、クイズに答えて下さいね。参加お待ちしております。正解者の方々には抽選で、何か良いもの用意します。

同時開催

“図書だより” “こんな本いかが” のコーナーで、先生方がお薦めして下さった本を集めました。毎月毎月ご紹介して頂きました、様々な本が揃っています。



カウンター
前で展示

1月	
1 日	休館
2 月	休館
3 火	休館
4 水	休館
5 木	休館
6 金	8:10-15:30
7 土	休館
8 日	休館
9 月	休館
10 火	8:10-18:50

図書館からのお知らせ

●冬休みの間、本の長期貸出をおこないません。

12月12日（月）～26日（月）の期間に本を借りると、返却日は一律で1月10日（火）です。

●開館時間延長

受験シーズン到来！1月10日から18:50まで開館時間延長します。

受験生の皆さん、応援しています。

EMC図書みくじ大会

新春最初は、ジャジャーン。

EMC恒例の図書おみくじです！今回はステキな言葉たちが書かれた本から作成します。お楽しみに。



1/6～ なくなり次第終了です

編集後記

少しずつイベントやお祭りが戻ってきた一年。皆さんにとっては、どんな年でしたか？体調に気を付けて新春を迎えましょう。（大原）



クリスマス
ツリーも見に
きてね。